

平成29年度 放課後デイサービス ばくの実 自己評価表

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	<input type="radio"/>			法令を遵守した以上のスペースは確保しているが、人数が多い時は外と室内に分け活動している
	②	職員の配置数は適切であるか	<input type="radio"/>			利用者2名に対し職員1名は配置し、個別対応もできるようにしている
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか			<input type="radio"/>	玄関にスロープをつけたいが傾斜がきつくなるため難しい。今後施設内・外周りの安全対策をしていく
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか		<input type="radio"/>		まだ十分とは言えないところあるのでケース会議の内容を見直す
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	<input type="radio"/>			今年度より実施し業務改善につなげる
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	<input type="radio"/>			今年度より実施しHPで公開
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			<input type="radio"/>	次年度より評価実施の予定
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	<input type="radio"/>			社内研修年2回実施、外部研修には職員全員年1回は必ず参加している
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか		<input type="radio"/>		アセスメント・分析を今後の課題とする
適切な支援の提供	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		<input type="radio"/>		ツールは使用していないため改善する
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	<input type="radio"/>			毎月会議で案を出し合い決めている
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	<input type="radio"/>			季節ごとに常にマンネリ化しないように新しい行事を取り入れている
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	<input type="radio"/>			長期休暇は予め活動予定を決めている
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	<input type="radio"/>			個別対応している部分もあるが全てにおいては難しい
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	<input type="radio"/>			レク等での配置や担当を決めている
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		<input type="radio"/>		全員揃ってではないが時々している 翌日のミーティングにて気づいた点を共有

	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか		○		記録が徹底されていないため必ず記入する事を周知し今後の支援に役立て改善につなげる	
	⑱	定期的モニタリングを行い、放課後等サービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○				
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか		○		学校との連携、地域交流の機会がない	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			会議には児童発達支援管理責任者が出席している	
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			送迎時間が重なる場合は各学校に調整をお願いしている。保護者からの下校時間変更の連絡がない場合もすぐ対処出来るようにしている。	
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	/				
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか			○	今後の課題とし取り組む予定	
	㉔	学校を卒業し、放課後等サービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			○	情報提供の依頼がなかったため実施していなかったが今後依頼があれば提供する	
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			研修は受けている。今後も積極的に連携する機会を増やすようにしていく	
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	障害のない子との交流はたまにあるが交流を企画しての活動は現実的に難しい状況である	
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○			上尾市・伊奈町の地域自立支援会議に出席している	
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			送迎時に保護者に伝え合っているが 会えない保護者もいるため連絡帳での伝達になっている	
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	必要な保護者に専門機関等を紹介している 今後ペアトレの職員研修をし、保護者の支援を行う	
	⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に時間をかけ対応している	

保護者への説明	⑳	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○				
	㉑	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			保護者会、行事ではバス旅行・施設見学会・クリスマス会・ばくの子まつりなど保護者が参加出来るようにし、保護者同士の話す場を設けている	
	責任等	㉒	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			保護者には周知しているが子どもには周知していない
		㉓	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			毎月ばくの実日より、1ヶ月の行事予定を発行
		㉔	個人情報に十分注意しているか	○			外での職員同士の会話、外出時に大きな声で子どもの名前を呼ぶことのないよう注意している
		㉕	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			視覚で分かり易く理解してもらえるよう配慮している
㉖	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	今後はばくの子祭り等で地域の方を招待する形をとりたい		
非常時等の対応	㉗	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか			○	保護者には一部マニュアルのみ説明しているが、全てのマニュアルを説明していくようにする	
	㉘	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			避難訓練は年2回しているが、毎回改善する点がある	
	㉙	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			現在も研修はしている。今後も年1回義務付ける	
	㉚	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか			○	万が一身体拘束をする場合は、職員会議で話し合い、その旨を保護者に説明し支援計画に記載する	
	㉛	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			医師ではなく保護者からの依頼書で対応	
	㉜	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			毎回の会議、ミーティングにて話し合い繰り返さないよう共有している	